

年	月日	事柄
1945年	9月28日	トルーマン米大統領、大陸棚に関する宣言を発表
1958年	4月29日	大陸棚条約採択(於ジュネーブ)
1973年	12月	第3次国連海洋法会議開始
1982年	4月30日	国連海洋法条約採択(於ニューヨーク)
1982年	12月10日	国連海洋法条約署名開放(於 ジャマイカ モンテゴ・ベイ)
1993年	3月10～12日	大陸棚の定義に関する専門家会合開催(於ニューヨーク)
1994年	11月16日	国連海洋法条約発効
1996年	7月20日	日本について国連海洋法条約が発効
	7月28日	国連海洋法条約第11部実施協定発効
1997年	3月	第1回CLCS委員選挙
1999年	5月13日	CLCS科学的・技術的ガイドライン採択 (このガイドラインの採択日から10年間に申請期間とすることにつき、第11回締約国会合(2001年5月開催)で合意された。)
2000年	5月1日	CLCS公開会合を開催
2001年	12月20日	ロシアが申請を提出
2002年	4月	第2回CLCS委員選挙
	6月27日	第11回CLCS会合において、ロシアに対する勧告を发出
2004年	5月17日	ブラジルが申請を提出
	11月15日	オーストラリアが申請を提出
2005年	5月25日	アイルランドがポーキュバイン深海平原海域の申請を提出
	6月19～23日	第15回締約国会合でクロッカー-CLCS委員長が今後のCLCSの仕事量について問題提起
2006年	4月19日	ニュージーランドが申請を提出
	5月19日	フランス・アイルランド・スペイン・イギリスが共同申請を提出
	6月16～23日	第16回締約国会合でクロッカー-CLCS委員長が、申請の増加への対策についてプレゼンテーションを行う
	11月27日	ノルウェーが申請を提出
2007年	4月4日	第19回CLCS会合において、ブラジルに対する勧告を发出
	4月5日	第19回CLCS会合において、アイルランドに対する勧告を发出
	5月22日	フランスがフランス領ギニア及びニューカレドニアの申請を提出
	6月14～15日	第3回CLCS委員選挙
	6月18日～22日	第17回締約国会合でクロッカー-CLCS委員長及びミクスカ海軍海洋法課(DOALOS)課長が、申請の増加への対策についてプレゼンテーションを行う
2008年	12月13日	メキシコが申請を提出
	4月9日	第21回CLCS会合において、オーストラリアに対する勧告を发出
	5月8日	バルバドスが申請を提出
	5月9日	イギリスがイギリス領アセンション島の申請を提出
	6月16日	インドネシアが申請を提出
	6月13日～20日	第18回締約国会合で、申請提出期限を実質的に緩和することを決定
	8月22日	第22回CLCS会合において、ニュージーランドに対する勧告を发出
	11月12日	日本が申請を提出
	12月1日	モーリシャス・セーシェルが共同申請を提出
	12月5日	スリナムが申請を提出
12月16日	ミャンマーが申請を提出	
2009年	2月5日	フランスがフランス領アンティル及びケルゲレン諸島の申請を提出
	3月20日	イエメンが申請を提出
	3月24日	第23回CLCS会合において、フランス・アイルランド・スペイン・イギリスの共同申請に対する勧告を发出
	3月25日	第23回CLCS会合において、日本がプレゼンテーションを実施
	3月27日	第23回CLCS会合において、ノルウェーに対する勧告を发出
	3月31日	第23回CLCS会合において、メキシコに対する勧告を发出
	3月31日	イギリスがハットン・ロココール海域の申請を提出
		アイルランドがハットン・ロココール海域の申請を提出
		↓
	5月13日	50の申請及び39の予備的情報が提出
	6月22日～26日	第19回締約国会合でCLCSの審査の作業量についての協議が行われ、ワーキンググループが設置される
8月10日～9月11日	第24回CLCS会合において、18件の申請のプレゼンテーションが実施	
9月2日	第24回CLCS会合において、フランスのフランス領ギニア及びニューカレドニアの申請に対する勧告を发出	
	第24回CLCS会合において、日本の申請を審査する小委員会を設置	

大陸棚形成期の概念の

国際法上の概念の

条約の海洋法の

CLCS始動

各国の大陸棚限界延長申請の本格化

申請提出期限